

2 0 0 6 年 4 月 1 7 日

株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
2-5 F・Kビル  
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/>  
広報部 03-3664-5697

## 精密小型モータの日系メーカー生産動向調査を実施

0 6 年、9 品目の生産個数は 5 3 億 9, 5 0 0 万個(前年比 4 % 増) となる見込み

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、精密小型モータ日系メーカーの国内および海外の動向を調査し、精密小型モータ主要 9 品目と主要部材 7 品目の動向を報告書「精密小型モータ市場実態総調査 2 0 0 6」(A 4 判 1 5 1 ページ)にまとめた。

### 調査のまとめ

主要モータ別日系メーカー生産規模(単位:千個)

	2005 年(実績)	前年比	2006 年(見込)	前年比
ガバナレスモータ	2,829,600	95%	2,838,350	100%
ブラシレスモータ	928,000	120%	1,044,200	113%
ステッピングモータ	694,300	114%	759,510	109%
コアレスモータ	291,500	124%	295,700	101%
軸流ファンモータ	272,400	103%	279,730	103%
その他モータ	170,650	89%	177,380	104%
合計生産量	5,186,450	102%	5,394,870	104%

0 1 年以降、デジタルカメラや DVD プレーヤなどデジタル家電が牽引車となり生産拡大を続けている。0 5 年の日系メーカー生産量は約 5 2 億個であった。0 6 年には 5 4 億個に近く見込みである。この量的拡大に最も貢献したモータが 0 5 年実績の 5 5 % を占めるガバナレスモータである。しかし同モータは、0 5 年には音響・映像機器の減少が大きく響きマイナス成長となった。0 6 年もこの分野向けの需要はマイナスが見込まれ、情報通信関連は伸びるものの全体需要としては横ばいとなるものと見られる。

日系メーカーの独占的市場環境から、セット機器メーカーのグローバル化、中でもアジア地域における生産拡大に伴い、地元メーカーとの競合が激化しており、特に、中国、韓国、台湾などのメーカーに対して価格などで劣勢な面も出始めている。

#### (1) ガバナレスモータ(音響・映像関連用途が約 4 0 %)

最も汎用性の高い製品であることから幅広い用途に採用され、ある応用製品が衰退してもそれに代わる市場が立ち上がって市場が拡大してきた。しかし、0 5 年、VTR、ラジカセなどが依然減少傾向であるのに加え、CD/MD プレーヤの市場シェアが 2 0 % 程度と前年から 5 % も減少したことから、音響・映像関連の需要は減少している。更に拡大の一翼を担ってきた CD/DVD-ROM 関連の需要も 0 6 年は厳しい状況が見込まれ、携帯電話や自動車関連など需要が好調な分野もありながら、市場全体ではほぼ横這いに止まる見込みである。シェア 6 0 % を超え業界のガリバー的存在のマブチモーターは音響・映像関連のシェアが高く、これらの需要減の影響を大きく受けている。

コスト競争力を生み出すため、各社とも海外生産へシフトし、特に中国にその生産の大半が移管された。その結果、0 5 年には同地域の生産が全体の 7 0 % 近くになった。ただ、最近セット機器メーカーの新たな生産拠点としてベトナムが急速にクローズアップされて来ており、マブチモーターも 0 6 年以降、同国で生産を本格化させることによって、生産ウエイトを高める見込みである。

主要アジアメーカー各社の実績は香港のメーカーが上位を占め、JOHNSON ELECTRIC(自動車、家電など、05年9億1,000万個)、SUN MOTOR TECHNOLOGY GROUP(以下SMTG)(家電、OA機器など、05年2億2,000万個)、及びStandard Motor(自動車分野、05年1億8,000万個)などである。

05年の日系メーカーとアジアメーカーの実績合計は53億5,500万個で、この内日系メーカーが28億3,000万個を生産し、53%のシェアを占めた。06年は、55億2,900万個程度の生産が見込まれるが、日系メーカーの実績が伸び悩み、シェア51%とアジアメーカーとの差がほとんど無くなる。日系メーカーの良さが評価される高機能分野に特化して展開していくことも一つの方向性として考える必要がある。

家電市場は世帯普及率が低い中国を中心に潜在需要が大きく、市場拡大が続くと見込まれており、アジアメーカー各社はこの分野を事業の柱としている。アッセンブリ工場が集中する地理的要因も含めてアジアメーカーは優位な立場を確立しており、将来的にアジアメーカーが日系メーカーのシェアを奪う展開が予想される。

## (2) コアレスモータ(携帯電話用途が95%以上)

需要の95%以上を占める携帯電話市場の動向が大きく影響する形で生産は推移している。近年はこの市場の高い伸びに支えられ、前年比10-20%の高い成長を遂げてきた。05年も、前年比24%増の2億9,000万個を超え、3億個の大台も軽く超えるものと見られていた。しかし、同年携帯電話の調整が入ったことから、大台に乗るのは07年にずれ込む見込みである。日系メーカーでは、ミネベア・松下モータが1億5,900万個を生産し圧倒的なシェア(55%05年)を占め、ますますその地位を固めている。

各社とも海外携帯電話メーカーの生産に合わせて、海外生産を拡大している。その中心はアジアで、ミネベア・松下、並木精密宝石はシンガポール、タイでの生産が近年急速に拡大してきた。国内生産は、1%程度のハイエンド品を中心に需要が残る見通しである。

アジアの主要メーカーは、いずれも韓国メーカーのSamsung Electro-Mechanics(05年8,800万個)、LG INNOTEK(05年8,000万個)、JOHWA ELECTRICS(05年6,000万個)であり韓国携帯電話メーカーに強い実績を持つ。上位2社では、SamsungやLG向けに競合が懸念され、今後の展開では欧州、台湾、中国の携帯電話メーカーへの拡販を強めて行くと考えられる。

アジアメーカーは、好調な韓国携帯電話メーカーに釣られ、いち早く3億個の大台に乗せており、05年ではアジアメーカーが3億1,600万個、シェア約52%(生産量)、日系メーカーに比べ優位に立っている。

## (3) ブラシレスモータ(HDD関連用途が約40%強)

このモータは、HDDの需要好調を背景に高水準の拡大を続けている。携帯オーディオプレーヤやHDD搭載カーナビゲーションシステムなどの市場が拡大して全体を押し上げ、加えてDVD-ROM/RAMなどのODD関連の需要も順調に拡大している。05年には9億2,800万個を生産する市場を形成した。06年もこの傾向が続くことが予測され、市場は10億個の大台に達するのは確実と考えられる。また、金額ベースでも、今後市場が期待される1.0inch~0.8inchのHDD向けハイエンド製品が普及期を迎えると、単価下落傾向に歯止めがかかると期待される。また、まだ市場は小さいながら注目されるのが車載関連需要である。電動パワーステアリング用で市場形成されているに過ぎないが、潜在需要の大きな市場である。

HDD向けモータはワールドワイドな市場で、日系メーカーの独壇場である。今後も日本電産を筆頭に、松下グループ、日本ビクター、ミネベアの4社で市場の大半を占めるものと考えられる。

海外メーカーも、DVD-ROM/RAM関連では競争力を持っており、特にセット機器メーカーのSamsungなど韓国メーカーに供給を行う韓国モータメーカーの位置付けが高い。DVD-ROM/RAM分野は、韓国・台湾メーカーの展開次第では今後競合が激化することも予測される。

アジアメーカーを含めた11億950万個(05年)の市場のうち、日系メーカーは83%(05年)以上のシェアを持ち圧倒的な強さを示す。HDD需要は、今後1.0inch~0.8inchへと小型大容量化が

進み、それに伴うFDB(流体軸受)の開発競争も熾烈さを増す。

#### (4)ステッピングモータ(DVD-ROM/RAM関連が約50%)

全体市場は年々拡大しており、05年には6億9,400万個を生産した。その内訳は、PM型(2億8,700万個)、LS型(3億5,100万個)、HB型(5,600万個)となっており、近年、LS型の伸びが著しい。この背景には、LS型の主要アプリケーションとなるDVD-ROM/RAMなどのODD関連市場の急伸がある。05年上期に調整の入ったデジタルカメラ関連も下期には調整を終え再度上昇していることから、06年以降もこの市場は確実な成長が見込まれる。一部ではデジタルカメラ需要の頭打ちを予測する企業もあるものの、調整が入りながらではあるが拡大している。また、手振れ補正など従来は無かった用途への採用も予測されることから、07年以降も年率5%前後で成長していく見込みである。

日系メーカーは、日本電産サンキョーが、LS型の需要増を背景に更にシェアを拡大して、PM型を含めたトータル市場で05年2億3,000万個の実績を達成した。その他の日系メーカーも、ミネベア・松下モータなど有力メーカーが存在しているが、韓国メーカーのMOATECHもアジア市場でトップクラスの実績を持つ。

アジアメーカーを含めたトータル市場(05年9億5,990万台)では、日系メーカーのシェアが約70%を占めて日系メーカー優位は続いているが、韓国メーカーも同じODD関連を成長軸とすることから予断を許さない。

#### <調査の概要>

##### 調査対象

##### (1) 小型モータ 9品目

ガバナレスモータ 電子ガバナモータ コアレスモータ ブラシレスモータ ステッピングモータ(PM/LS/HB) 軸流ファンモータ(DC/AC・ブロー) インダクションモータ シンクロナスモータ ユニバーサルモータ

##### (2) 部品材料 7品目

ボールベアリング メタルベアリング シャフト カーボンブラシ コミュテータ プリントコイル 永久磁石

2. 調査期間： 2005年12月～2006年3月

3. 調査方法： 弊社専門調査員の対象企業などへの直接面接取材を基本に、アンケート調査、電話ヒアリングを補完として実施した。

以上

タイトル : 「精密小型モータ市場実態総調査2006」  
発行日 : 2006年3月31日  
体裁 : A4判 151頁  
価格 : 95,000円(税込み99,750円)  
調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第一事業部  
TEL 06-6228-2020(代) FAX 06-6228-2030  
発行所 : 株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル  
TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail: info@fuji-keizai.co.jp/  
この情報はホームページでもご覧いただけます。  
URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/>  
URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>